

## 議 事 録

公開・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一部公開</span> 非公開	非公開 部 分 理 由	個人情報にかかると部分
	保存期間	30 ( ) ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
	作成日	令和5年2月21日
部長	課長	課長補佐
	係長	係
		記録者所属 企画振興課企画政策係
		職・氏名 主任 西村 一希 印

会議等の名称	令和4年度 第11回市民まちづくり会議	開催日時	令和 5年 2月 21日 (火) 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午後</span> 6時 30分～ 午前・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">午後</span> 8時 00分
		場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	
出席者	有賀剛、五十嵐豊峰、大谷真宙、小夫真、倉寫智彦、田中隆、篠原博文、鈴木絵美、 柘植香織、中澤亥三、水間源、村山弘子		
	若林移住定住・シティプロモーション係長、大塚企画政策係長、上条、西村 (傍聴人あり)		
欠席者	荻原猛、坂口永一、島田直政、竹内直弘、花岡裕子、柳橋悠香、		

議 題	(事務局) 連絡事項  (全体) 令和5年度以降の会のあり方について (グループワーク) まちづくり班、シティプロモーション班に分かれそれぞれ グループワークを実施	(配布資料)  別紙会議資料のとおり
決定事項 (要点を箇条書き)		
次回への検討 事項		
次回開催	(日時) 令和5年2月21日 18時30分から	(場所) 本館2階全員協議会室
討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
開会あいさつ	小夫委員長	来期の会の進め方について (別紙)
		(その後グループに分かれ会議を進める)
各グループワークの内容は別添のとおり		

- 委員 来年度の委員長、副委員長を決めたい。  
また、アンケートの結果を報告したい。(別紙のとおり)
- 委員 「協働」ということなので、市職員が委員に入っていないのはおかしい。
- 委員 会議にいなくてもいいのではないか。
- 委員 ホームページ等にある理念には「市民や行政が相互理解と信頼のもとで、一緒に課題に向き合い、共に汗をかき、共に学び、知恵を出し合い、実行に移すための組織です。」とあるので、事務局に行政にいてもらわないといけない。
- 事務局 市職員が会議のメンバーにいなくても「協働」は可能です。
- 委員 まず、市民の中で決定していかなければならないと思う。
- 委員 市民の自己決定が、市職員が入ることで阻害されることになる。
- 委員 この会議を設置したのは市の役割で、中身は市民でやるということではないか。
- 委員 市民、行政ともに無理強いをしてやるものではない。市民が事務局をして、必要な時に市の協力を得ていくやり方にしたい。
- 委員 新しい役員を決めてから、進めたい。
- 委員 アンケートの結果をみてもそうだが、新しいメンバーで決めればいいのではないか。
- 委員 今日新役員を決定しても、3月31日までは、今の役員体制なので、急がなくてもいいのではないか。  
新メンバーはどうやって集めるのか、募集しているのか。
- 委員 まだしていない。  
新旧役員を決めて、6人で話し合っ決めてたい。
- 委員 新しいメンバーを今から募集すると、4月号の広報なので、活動を開始するのは6月頃になる。
- 委員 今は、今のメンバーで大まかな方向性を決めたい。
- 委員 早く新しいメンバーを募集した方がよい。
- 委員 方向性が定まっていない。いつを募集の締め切りにするのかとかずっと募集中にするのかとか、そういうことを決める時間が欲しい。
- 委員 新しいメンバーがそろったところで役員を決めた方がいい。  
小夫さんには年度を超えてしまうが、役員を続けてほしい。
- 事務局 広報の4月1日号が一番早いものになる。原稿は3月3日、4日くらいが締め切りとなる。最初は事務局が出したが、今後は市民の皆さんで内容を決めてほしい。
- 委員 今いる人を優先して、新しい人を募集したらどうか。
- 事務局 最初は市で設定したが、「まちづくり市民会議」ではなく、「市民まちづくり会議」であり、市民の皆さんの会議なので、皆さんで任期を決めてもらっていいものです。
- 委員 新しい人も今いる人もなく、みんなで話し合いをした方がよい。

- 委員 市が助言をしてほしい。  
役員と事務局でよく話をしてほしい。
- 委員 事務局を市民まちづくり会議でやったほうが円滑にいくと思う。
- 委員 どうするか決めたい。  
新メンバーで役員を決めた方がよい方→8名→ではそのようにしていく。  
内容はどうするのか。
- 委員 何かあったときには市の責任になる。  
自分たちでは責任とれない。
- 委員 この会議は市民の自己責任で行うもの。何かあったときというのは、保険で対応するもの。
- 委員 役員と事務局で内容を詰めてもらい、記事をつくるのがよい。
- 委員 記事を作成し、LINE等で共有する。その際、意見があればいただきたい。

## 市民まちづくり会議（まちづくり班） 議事録 R5.2.21

### 1 「集い」の感想

- ・事前の準備ができていたので、問題なく実施することが出来た。
- ・不登校を起点として、試しにやってみた講演会だったので、継続していけるのだろうか。
- ・今後の連携をどのようにしていったらよいか。
- ・委員の任期は終了するが、新しいメンバーでも継続してやっていきたい。
- ・居場所づくりについては、男子2名が参加した。おもちゃがたくさんあったので、よかった。
- ・盛況でよかった。集まって何かができるというのはよいこと。
- ・予想以上の人が集まってくれた。市の幹部も来てくれた。講演会后どのようにしていくのかが重要。
- ・いろんな切り口やセクションとのつながりが大事だと思う。今回は、小中学生の不登校を対象としたが、多世代で集まることのできるベースがあればよい。

### 2 その他

- ・当日のアンケートについては、現在まとめているところ。
- ・当日の講演会と対話会の様子を講師の許可を得て、DVDにまとめた。
- ・居場所づくり用に購入したおもちゃについては、市の補助金で購入したので、市に寄付するのではなく、民間に寄付したい。3月6日までに寄付先の候補をあげてほしい。

**【シティプロモーションとは】**

次年度に向けて、市ではどんな取組みをしているか理解し、それに対して当会議ではどんな活動ができるか意見交換を行った。

～以下意見交換の内容～

移住定住シティプロモーション係長より毎月定例会議があること、その会議でどの取組をプロモーションしていくか検討されていることが伝えられる

市のプロモーション計画を共有してもらうことで、当会議で何かしらの形で関わる事が出来るのではないかと。

また、市の戦略も絡めた活動をしていくことが重要なのではないかと。

プロモーションといっても、大勢に向けたものもあれば、少人数向けの取組もある。小規模でも回数を重ねることで効果も出てくるのではないかと。

規模の大小は関係なく、身近な地域などの活性化をしていくことで市全体のプロモーションへつながっていくのではないかと。また、活動をするなかで自分自身も楽しんで活動していきたい。

本年度はサイクリングイベントを進めてきたが、今後については一つのことを決めて活動するのではなく、それぞれの長所を活かすような幅広い活動をしていくのはどうか、その方がよりよい魅力発信ができてくるのではないかと。

市が行うプロモーションに様々な形でかかわっていけるよう活動をしていきたいと考えている。